

第二次新潟市立図書館ビジョン 令和3年度実績 評価シート(中央図書館)

図書館の基礎的数値	中央図書館の実績			
	指標	令和元年度	令和2年度	令和3年度
1 資料購入費(単位:千円)	決算額	28,244	26,543	26,867
2 蔵書冊数(単位:冊)	図書のみ	470,988	472,211	476,181
3 個人貸出人数(単位:人)	図書、雑誌、AV	277,298	228,834	239,813
4 個人貸出点数(単位:点)	図書、雑誌、AV	1,036,233	906,246	912,133
5 個人登録者数(単位:人)	有効期間は4年	36,548	33,601	31,687
6 (うち新規登録者数)(単位:人)	上記の内数	4,204	3,320	3,694
7 団体の貸出冊数(単位:冊)	図書、雑誌	42,574	40,706	36,868
8 入館者数(単位:人)	図書館のみ	523,914	363,880	382,123

※資料購入費には、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した「学習支援のための図書購入等事業」は含みません。

市民の生涯学習や課題解決を支援します。	指標	実績		実績		目標		令和3年度 中央図書館の取組結果	外部評価欄	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和3年度	令和3年度	令和4年度		段階評価	自由記述
<p>施策① 多様な利用に応じた図書館サービスの提供</p> <p>施策② 課題解決のためのレファレンスサービスの充実</p>	<p>予約件数</p> <p>レファレンス受付件数</p>	<p>134,130件</p> <p>24,473件</p>	<p>154,181件</p> <p>29,193件</p>	<p>135,000件</p> <p>26,000件</p>	<p>153,255件</p> <p>26,142件</p>	<p>160,000件</p> <p>26,200件</p>	<p>令和2年度は、新型コロナウイルスの影響で臨時休館し入館することができなかったため、予約件数が増加し、令和3年度も予約して来館するスタイルがさらに定着したと思われます。 ・新潟県独自の特別警報による臨時休館中や、まん延防等重点措置期間中も、レファレンスの受付を継続し、市民の資料要求や課題解決に努めました。</p>	<p>3 大変評価できる 100%</p> <p>2 ある程度評価する 36%</p> <p>1 評価できない 0%</p>	<p>・コロナ禍での電子図書館のスタートは時宜適切な市民サービスと思います。実現に尽くされた職員の皆様の努力に敬意を表します。 ・ウイルス禍の中でも創意工夫で市民サービスを維持に努めたことを評価したい。 ・コロナ禍の中でも、ある程度成果を上げることができたことはよかった。職員はもちろんのこと、色々な立場の人の意見を生かしてまず利用実績を上げることに力を注いでほしい。 ・ホームページやスマートフォンで予約が出来るようで今のニーズに合っていると思います。コロナ禍なのでこれからも増えていきそうですね。また、パソコンやスマホ操作が苦手な人も読書好き世代にはまだまだ多いと思うのでそちらの方にやり易いように考えていただければなお良いと思います。 ・コロナ禍による影響は、まだ暫く続くと考えられます。市民の図書館利用は、変化したスタイルで定着するのではないのでしょうか。これからも、市民が利用し易い対応に努める図書館であることに期待しています。 ・目標達成しておりとても素晴らしいと思います。予約することで、コロナ禍でも安心して来館できるため、今後もより多くの方に利用をしてもらいたいです。 ・予約数の増加は、評価される点である。利用しやすいサービスの提供を継続していただきたい。 ・新型コロナウイルスの影響で外出を控えるか、図書館を利用する様に等案内をして居りますがご苦勞様の事です。 ・予約で見通しをもちながら読めることは、借り手にはとても便利でムダがなくよい。レファレンスの受付を継続したことで求める人たちに寄添い、市民の学び、豊かなくらしづくりに寄与していたと考える。</p>	
<p>イ 特色ある地域づくりのために地域資料を収集・活用します。</p> <p>施策① 地域資料(郷土資料・行政資料)の体系的な収集</p> <p>施策② 地域の課題解決に役立つ資料の活用</p>	<p>郷土・行政資料の蔵書冊数</p> <p>資料のテーマ展示回数</p>	<p>43,872冊</p> <p>80回</p>	<p>44,177冊</p> <p>74回</p>	<p>45,000冊</p> <p>74回</p>	<p>44,816冊</p> <p>80回</p>	<p>45,000冊</p> <p>80回</p>	<p>・地域資料の蔵書冊数は、目標に達しませんが、令和2年度は305冊の増加、令和3年度は639冊の増加で、前年度より多く受入れできました。 ・庁内関係課の事業に関わる関連展示や暮らしの課題解決に役立つテーマを取り上げ展示を行いました。また、資料やイベント情報をホームページやツイッターで発信しました。</p>	<p>3 大変評価できる 64%</p> <p>2 ある程度評価する 36%</p> <p>1 評価できない 0%</p>	<p>・HP:各ページにおいて、そのページのトップにすぐに戻ることができるように工夫をした方が、より使いやすい。 ・スマホバージョンのトップが、メニュー画面だと視覚的にも使いやすいのではないかなと思う。 全体的に、次回の改定時に期待します。 ・ツイッターでの発信はスピード感があり良いと思います。各図書館の「今見てもらいたいところ」がわかりやすく、本の紹介とイベントが連携していてよいと思います。 ・これらの収集は、公立の図書館の重要な役割。さらに力を入れて。 ・市内の郷土史等の研究、研修団体の協力を得て地域の資料を借り集めよい資料は現物をコピーしてコピーを返し、現物を整理して残すくらい在意気込みで収集してほしい。図書館は資料センターであるだけでなく、研究や集積・保存センターの役割をはたしてほしい。 ・マンガの家や美術館などの情報をホームページやツイッターでの発信は良いと思います。 ・地域資料の蔵書受け入れを、積極的に展開されていることがうかがわれました。 ・資料やイベント情報を、ホームページやツイッターで発信していることがうかがわれました。令和4年度も工夫を凝らした展示や発信に期待しています。 ・地域資料の蔵書冊数は目標には達していないが、前年を上回っているのが努力をされた結果だと思います。今後も情報などHPやSNSを使い、より多くの方へ発信をして欲しいと願います。 ・予約で見通しをもちながら読めることは借り手にはとても便利でムダがなくよい。レファレンスの受付を継続したことで求める人たちに寄添い、市民の学び、豊かなくらしづくりに寄与していたと考える。</p>	
<p>ウ 子どもの読書活動を推進します。</p> <p>施策① 子どもの読書環境の整備</p> <p>施策② 学校、保育園・幼稚園・こども園、公民館などとの連携と支援</p>	<p>児童書の貸出冊数(個人・団体)</p> <p>子どもの読書推進に関わる職員派遣</p>	<p>253,233冊</p> <p>20人</p>	<p>230,607冊</p> <p>28人</p>	<p>235,000冊</p> <p>28人</p>	<p>245,924冊</p> <p>15人</p>	<p>250,000冊</p> <p>20人</p>	<p>・ブックスタートや子ども・親子を対象とした様々な事業を感染症対策に留意して実施しました。 ・一部ZOOMを活用し、感染症対策に配慮して学校図書館訪問や研修を行いました。 ・少人数で調べ学習等の図書を共有できるよう、【学校貸出セット】オレンジBOXを充実しました。 ・講師派遣は新型コロナウイルスの流行もあり、子育て支援センターや園からの依頼が減少しました。今後は流行の状況を見ながら、依頼数を増やすためにあらためて園や関連施設へPRする必要があると考えています。</p>	<p>3 大変評価できる 82%</p> <p>2 ある程度評価する 18%</p> <p>1 評価できない 0%</p>	<p>・この部分の高いレベルの実績達成をもっと推進する必要があると思う。それは、この子どもの読書活動の推進こそが未来の新潟市の図書館行政の要であり、基礎になると思うからである。また、子どもや学校に働きかけることは、かなり高いレベルの目標でも協力を得られ成果を上げることが可能だと思うからである。教育委員会との協力体制が必要だと思う。 ・ブックスタート事業いつもありがとうございます。親子活動のイベントも人数制限や1か所に集まらないような工夫がとても良いと思いました。講師派遣については、本当に早くコロナウイルスが落ち着く事を願っております。 ・感染症対策を十分考慮して、事業の実施や学校図書館訪問・研修が行われたことがうかがわれました。 ・職員派遣は、園や関連施設とより良い感染対策を検討して行い、依頼数が増えることを期待しています。 ・施策②職員派遣において、園関連での依頼が減少して残念でしたが、ブックスタートやある程度の活動は実施されており良かったです。今後は、YouTubeなどを活用して読み聞かせ動画配信など、より多くの方から参加いただけるようにしてほしい。HPやTwitterだけでなく、LINEでの情報発信などは是非検討して欲しい。 ・現状でできることを行っておられる努力が実績につながっていると思う。取組を継続していただきたい。 ・学校ではオレンジBOXはともありがたい。1学年100人を超える大規模校では、順番待ちしながら活用することもある。是非、充実させていっていただきたい。タブレットに代えられない本の良さや活かしながら併用し、学びを豊かにしていきたい。コロナ禍ではあるが活用してもらえよう依頼数の確保を工夫していきたい。</p>	
<p>エ 市民参画と協働を推進します。</p> <p>施策① 利用者・市民による図書館運営への参画</p> <p>施策② ボランティアや教育機関・民間団体との連携協力</p>	<p>図書館協議会や利用者懇談会の開催</p> <p>ボランティア参加のべ人数</p>	<p>図書館協議会を2回開催</p> <p>1,349人</p>	<p>図書館協議会を2回、合同情報交換会1回開催</p> <p>383人</p>	<p>図書館協議会を2回開催</p> <p>525人</p>	<p>図書館協議会を2回開催</p> <p>616人</p>	<p>図書館協議会を2回開催</p> <p>630人</p>	<p>・新型コロナウイルス流行の影響でボランティア活動や各種共催事業の実施が制限された期間もありましたが、感染症対策に留意して活動を再開し、令和2年度より多くの人数の参加がありました。 ・ツイッターでもボランティアの活動を積極的にPRしました。 ・令和4年3月より「いがたし元気力アップサポーター制度」と「いきいき県民カレッジ」の2つのボランティア活動を応援する制度の参加希望者の受入れを開始しました。</p>	<p>3 大変評価できる 64%</p> <p>2 ある程度評価する 36%</p> <p>1 評価できない 0%</p>	<p>・ツイッターでの発信、良いと思います。 ・さらに継続を。 ・市民参画と協働は何よりも図書館活用の活性化のための手立てであってほしい。そのために各種会議等を図書館がどう生かすかにかかっていると思う。評価や反省というのは出された問題点を次年度に改善するために具体的にどう生かして運営がなされたかということに尽きる。改善されればまたいろいろな問題点を聞かせてくれるものである。目に見えて改善されなければ、次の甲は口を閉じることになる。 ・様々なボランティア活動があるようですね。これからも市民と図書館が連携していき、”親しみのある大事な所”として図書館の存在がありますように思います。 ・ツイッターで、ボランティアの活動を積極的にPRしたことがうかがわれました。 ・2つのボランティア活動を応援する制度の参加希望者の受入れを、開始されたことで、各機関とのつながりもでき、ボランティアの広がりを感じました。 ・目標より多くのボランティアの方から参加いただき大変良かったです。今度もより多くの方から、ご協力いただけるようPR活動や魅力のある図書館であって欲しいと思います。 ・ボランティア受け入れは評価すべき点である。感染対策を講じつつ社会活動を継続できる環境づくりを続けていただきたい。 ・ボランティアに参加したくてもできないコロナ禍で、取組や発信を続け立ち止まっていけないことはとても大切である。 目標を上回る実績を考えるとやりたいと思う市民の意識とこれからも大切につながっていききたい。</p>	